

岐阜大学公開講座

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

医療 マネジメント 講座

参加費
無料

—地域医療連携の推進と診療情報等の有効な活用を目指して—
先進的な大学院の講義を皆様に公開します。
医療専門職及び医療経営に携わる方の参加を歓迎します。

日時 平成24年12月15日[土] 10:00～16:00

会場 岐阜駅前 岐阜大学サテライトキャンパス 岐阜スカイウイング37東棟4階
JR岐阜駅 北口より徒歩5分 岐阜県岐阜市吉野町6丁目31番地

お車でお越しの際は近隣の有料駐車場、岐阜スカイウイング37中央部分「パーキング棟」立体駐車場(409台)または、アクティブG専用駐車場、岐阜シティ・タワー43地下駐車場、岐阜市駅西駐車場をご利用ください。また混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

定員 100名

1

レセプト情報等の利活用に関する今後の方向性について

10:00～11:00

【講師】加藤 源太 氏 (厚生労働省保険局総務課 保険システム高度化推進室(保険局 医療課 併任) 課長補佐)

2

大規模地域医療データバンクの構築とその活用について

11:00～12:00

【講師】藍原 雅一 氏 (自治医科大学地域医療学センター)

3

大垣市民病院における地域医療連携戦略と連携機関との診療情報の共有

13:00～14:00

【講師】金岡 祐次 氏 (大垣市民病院 外科部長)

4

ラウンド・ディスカッション

地域医療連携の推進を目指して—EMR/EHRからPHRへ、そして安心・安全な運用のために—

14:00～15:30

【話題提供】紀ノ定 保臣 研究科長 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科)

【コメンテーター】塚田 敬義 氏 (岐阜大学大学院医学系研究科 教授)

森口 修逸 氏 (株式会社エム・ピー・オー代表取締役社長)

【主催】岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

【お問い合わせ先】岐阜大学 連合創薬係 TEL.058-230-7602 E-mail : gjme00202@jim.gifu-u.ac.jp



岐阜大学

1

レセプト情報等の利活用に関する今後の方向性について

10:00~11:00

【講師】加藤 源太 氏 (厚生労働省保険局総務課 保険システム高度化推進室(保険局 医療課 併任) 課長補佐)

厚生労働省では「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、医療費適正化計画の作成、実施等に資するためのデータベースを、電子化されたレセプト情報、および特定健診・特定保健指導情報から構築してきた。悉皆性の高いこれらの情報を、医療サービスの質の向上等を旨とした正確なエビデンスに基づく施策を推進するべく、医療費適正化計画以外の目的にも平成23年度から第三者に対し試行的に提供しているところである。

データ提供にあたっては個人の特定可能性を下げるという観点から、①データベースの匿名化、②データベースの提供先に「ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) の実践」を順守した研究の推進、③成果の公表に際しての、最小集計単位 (患者の数で10件未満となる集計単位を含まないルール) の原則や、年齢区分、患者住所地や医療機関・保険者所在地の地域区分に関する集計単位の指定、等の制約を課してきた。

平成25年度以降、試行的運用としての位置づけから、通常運用としての位置づけで運用することを予定している。このデータベースの活用にあたって、これまでの運用から明らかになった課題を踏まえつつ、研究者が利活用しやすいデータ提供のあり方について、ガイドラインの見直しや有識者会議の運用の改善の方向性を解説する。

2

大規模地域医療データバンクの構築とその活用について

11:00~12:00

【講師】藍原 雅一 氏 (自治医科大学地域医療学センター)

地域の医療ニーズは、各地域によってさまざまであり、町丁字単位での地域医療解析により、地域住民の需要に基づき医療資源を配置することが必要不可欠な状況にある。その解析を可能にするため、自治医科大学地域医療学センターでは「地域医療データバンク」を構築して、自治体に対して情報提供することにより、地域医療の向上・発展へ向けた地域医療行政の支援を目指している。地域医療データバンクの大規模データを活用する解析結果について、岐阜県の解析例を中心にその地域の医療需要等について解説し、地域連携への活用について講義する。

3

大垣市民病院における地域医療連携戦略と連携機関との診療情報の共有

13:00~14:00

【講師】金岡 祐次 氏 (大垣市民病院 外科部長)

地域医療連携ネットワーク (オーエムネット) の開発の経緯と機能および今後の展望、現在の大垣市民病院をとりまく地域連携の実態 (特に癌パス) について述べる。

4

ラウンド・ディスカッション

地域医療連携の推進を目指して -EMR/EHRからPHRへ、そして安心・安全な運用のために-

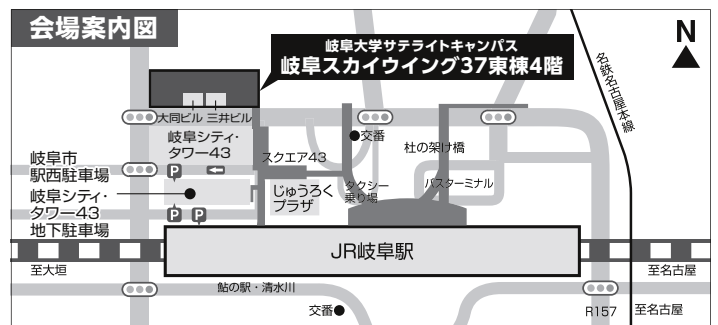
14:00~15:30

【話題提供】紀ノ定 保臣 研究科長 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科)

【コンテナー】塚田 敬義 氏 (岐阜大学大学院医学系研究科 教授) 森口 修逸 氏 (株式会社エム・ピー・オー代表取締役社長)

【岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科】

本研究科は国際的に水準の高い創薬医療情報に関する教育研究の展開、多方面の学術情報の蓄積と発信をめざしています。特に高度専門職業人、技術者、研究者の育成と同時に、社会人のリカレント教育としての責務も担っています。



【アクセス】名古屋からJR東海道本線で約18分 大垣からJR東海道本線で約11分

【駐車場】お車でのお越しの際は近隣の有料駐車場、岐阜スカイウイング37中央部分「パーキング棟」立体駐車場 (409台) または、アクティブG専用駐車場、岐阜シティ・タワー 43地下駐車場、岐阜市駅西駐車場をご利用ください。また混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加申込みFAX用紙

【お申込み方法】本紙に必要事項をご記入のうえ、右記FAX番号 (岐阜大学連合創薬係) まで送信ください。FAX. 058-230-7604

フリガナ	〒		
ご芳名	ご連絡先		
TEL () -	FAX () -	E-mail	@

※事前の申込みがない方でも、席に余裕がある限り、当日参加を歓迎します。遠慮なくおこください。

※ご記入いただいた個人情報は、主催者において本企画に関わる事務処理以外には使用いたしません。

【お問い合わせ先】岐阜大学 連合創薬係 担当: 澤田 (さわだ) 加藤 (かとう)

☎058-230-7602

